

式 辞

正門から校舎に向かって、2・3年生の生徒の皆さんがボランティア活動で植えたチューリップが、新入生の皆さんを祝うように満開に咲いています。まさに、春の到来の躍動感を感じる季節です。

1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。担任の先生からの呼名に、きちんと返事し起立をした姿は、清瀬中学校の生徒の最初の行動として立派でした。

制服の着心地はどうか。これまでの私服での登校とは違い、照れくさい気持ちと、ちょっと大人に近づいたような緊張感があるのではないかと、思います。

今日から、いよいよ義務教育最後の中学校生活が始まりました。今の喜びや決意などを忘れることなく持ち続け、3年後には、充実感や達成感をもって卒業することを願っています。

さて私からは、この中学校生活で、皆さんに特に大切にしてほしいことについてお話ししたいと思います。それは、「何事にも、前向きに主体性をもって行動する」ということです。

皆さんが今、座席につくまでの間のこの会場準備、受付や胸の花の装着、入場案内などを行っていたのは、すべて2・3年の先輩たちです。中学校では、このように生徒が中心になって諸活動を進めていきます。運動会や音楽祭などの学校行事・生徒会・部活動と、生徒が自発的・自主的に運営します。そして、その活動を進めていくときに必要なことが主体性なのです。

主体性とは、自分の意志、自分の判断によって、責任をもって行動する態度や性質のことをいいます。また主体性は、学校行事・生徒会・部活動だけに発揮するものではありません。授業や学習にも重要です。

先日の2月の体験入学では、いろいろな教科の先生から、勉強を教えてもらいましたね。学習については内容も増え、スピードも上がるので、心配な人もいるのではないかと思います。しかし、自分から進んで学習する姿勢をもつことによって、その心配は期待に変わります。

では、主体性を持って行動するために必要なことはどのようなことでしょうか。それは、考える力です。清瀬中学校では、自分なりの考えをもってほかの人と伝えあい、さらに自分の考えを深める活動を重視しています。自分の考えは、根拠に基づいていることが必要です。

今、私たちの身の回りで起こっていることは、必ずしも正解が一つとは限りません。学習内容も同様です。どうしてという疑問をもち、どのようにしたら答えを導き出せるのか、また、情報を正しく見極めて行動につなげていくことが求められています。そして、知ったことは仲間と伝えあい、支えあい、学びを深めてほしいと思います。

中学校3年間にはあっという間ですが、この間の成長は著しいものがあります。将来への夢や目標をもち、正面から向き合い実行していくことが、やがては、大きな財産となって自分の力になっていくでしょう。皆さんの輝く貴重な中学生時代を、清瀬中学校の先生方、先輩方は、全力でサポートしますので、一緒に磨きあっていきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様がこれからの3年間の中学校生活を通して、心豊かな思いやりのある、そしてたくましい生徒に成長してくれることを強く願っております。時にはお子様のことで、悩むこともあると思います。その際は、小さなことでも担任、学年はもとより、本校の職員に気軽にご相談ください。

結びに、本日ご列席の学校運営連絡協議会委員の皆様には、今後も子供たちの健全育成に向け、ご支援、ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます、校長式辞といたします。

令和5年4月7日

清瀬市立清瀬中学校 校長 佐藤明子